

1 『お嬢様クラスメイトは匂いフェチ♡フェラチオ・放課後おちんぽ嗅ぎタイム♡』

2 ASMR 脚本

3

4 ◆登場人物

5 ・クラスメイト

6 ・あなたのクラスメイト。

7 ・良家の生まれで清楚なお嬢様。

8 ・だが、周囲からの期待に応えようとするあまりストレスを溜め込んでいる。

9 ・実は匂いフェチで、あなたの匂いが大のお気に入り。

10

11

12		
13		【お嬢様クラスメイトは匂いフェチ】
14		場所…学校・教室・夕方
15		▼教室へと入ってくるクラスメイト
16		SE ⑥中…ドアが開く音
17		
18	⑥中	「失礼します」
19		
20		SE ⑥中…ドアを閉める音
21		
22		▼クラスメイト、あなたの方へ歩いてきて
23		SE ⑥中↓⑥近…足音
24		
25	⑥近	「すみません、生徒会の会議が長引いてしまって…」
26		「もう帰ってしまったかと心配していました」
27		「待っていてくれて、ありがとうございます」
28		「では早速…」
29		
30		▼クラスメイト、あなたに抱きつき
31		SE ⑥接下…抱きつき音（衣擦れ）
32		
33	⑥接	「今日も、お願いしますね」
34		
35		▼クラスメイト、あなたの服の匂いを嗅ぐ
36		「すう…はあ…」
37		
38		▼興奮した様子で
39		「すう…んんっ♡」
40		

41		
42	⑥接↓⑥近	▼服から顔を離して 「はふう…♡ 今日も素晴らしい…ですね」
43		「はあ…ふうっ♡ 体育があったから、期待はしていたのですが…んんっ♡」
44		
45		▼再び顔を近づけて
46		SE ⑥接下…衣擦れ音
47		
48	⑥近↓⑤接	「あなたの汗ばんだ匂い…すんすん…んんっ♡ 癖になってしまいました」 「とっても濃厚で…んんっ♡ すう…はあ♡」
49		
50		
51		▼場所を変えて
52		SE ⑥接下…衣擦れ音
53	⑤接↓⑦接	「はあ、はあ…ふう…んんっ♡」 「こちらの方も…」
54		
55		「すんすん…んんっ♡ ふう、んっ♡ はあ…はあ…」
56		「溜まりません…っねえ♡」
57		
58		▼あなたの匂いを嗅ぎ回るクラスメイト
59		SE ⑥接下…衣擦れ音
60		
61	⑦接↓⑥接	「すんすん、くんくん…んふっ♡ はあ、ふう、んんっ♡」
62		「ふう、ふう…この匂い…ずっと嗅いでいたのですが…」
63		
64	⑥接↓⑥近	「もう時間ありませんね…」
65		「すぐに始めてしましましょう」
66		

67 ▼クラスメイト、あなたのズボンを脱がそうと腰をおろして

SE ⑥ 近下…衣擦れ音

70 ⑥ 近↓

「はあ、はあ…んっ…」

「ふふっ♡ もうこんなに膨らまして…」

服の上からでも形がわかってしまいます」

「こうして私に匂いを嗅がれるのを、期待していたんですか？」

「ふふっ、ならウィンウィンという事でしょうか？」

「私はあなたの匂いを嗅ぎたい…あなたは私に匂いを嗅がせたい…」

「そういう事ですもんね？」

「では、そろそろ…」

▼クラスメイト、あなたのズボンを脱がしはじめる

SE ⑥ 近下…ベルトを外す音

SE ⑥ 近下…チャックを降ろす音

▼クラスメイト、股間の匂いを嗅ぎ発情

「んんっ♡ こもりきった汗の匂いが…んんっ！」

SE ⑥ 近下…ズボンを降ろす音（衣擦れ音）

「ふうーっ♡ ふうーっ♡ くんくん…んふうう♡

一段と濃厚な匂いで…♡ 頭がクラクラしてしまいます。」

「もう我慢できません！ お口で味わわせてもらいますっ…！」

SE ⑥ 近下…パンツを脱がす音

「はあ、はあ…こんなパンパンにして♡」

▼亀頭にキス

「んっ…ちゅっ♡」

「んんっ…ちゅっ♡　ちゅっ♡　ちゅうつ…♡」

「ふう、ふう…んんっ♡　ふうう♡」

▼竿を舐め始める

「んっ…れりゅっ…れるれる…れる、んんっ♡　んっ♡　れる…れる…れる♡」

▼1度顔を離して

「んんっ♡　んんっ…口の中にあなたの匂いが…広がってえ♡」

「はあ、はあ…頭…クラクラってしてしまいます♡」

「もっと、もっと…」

▼竿を舐め始める

「んふっ…♡　ちゅっ、れる…れるれる…れる、れりゅ…」

「ふーっ♡　ふーっ♡　んふっ、れる、れるれる…れるっ…んふっ♡

れる…れる…」

「はあ、はあ、れるれる、れるちゅっ♡　んんへえ…♡　れる、れる…」

「ふう…ふう…んんっ♡」

▼我に返って

「はっ…すみません。つつい夢中になってしまいました…」

「おちんぼも、こんな唾液まみれにしてしまって…」

「テカテカに光らせてしまって…」

▼発情

「ふう、ふう…♡」

▼口に含み始める

「んっ…ちゅぷ…♡」

「あむっ…んちゅ、じゅぶ…じゅりゅ…じゅっ、れる…れる…」

「んんっ♡ 鼻の奥まで…届いて♡

んじゅ、ちゅぶっ…じゅぶ…じゅりゅ、れる…んぐっ」

▼夢中で

「はぁ、んんっ♡ んぐっ、れる、じゅぶ…じゅぶっ、じゅぽ、じゅぽ…」

「じゅぽぽっ…んんっ、んっ！

じゅりゅ、じゅぽ…じゅっぽ、じゅぽっ、じゅぽっ…」

「んんっ♡ じゅぽじゅぽ、じゅぶ、じゅぽ、じゅぶぐぽっ…じゅぶりゅ…♡」

「ぷはぁ…はぁ、はぁ♡ んんっ♡」

▼1度顔を離して

「口の中にあなたの匂いが広がってえ…んんっ♡」

「男らしくて…濃厚な匂いが…んんっ♡ 興奮しちゃいます♡」

「はぁ、はぁ…もっともっと…私に…くださあい♡」

▼亀頭キスからフェラへ

「はあ、はあ♡んふっ…んちゅっ…ちゅうつ♡」

「んぐっ…ぐぶ、ぐぼ、ぐぶぽ♡んふっ！はあ、あふあ♡
ぐぼ、ぐぼ…じゅぶじゅぼっ…」

「じゅぶっ、じゅぶっ…じゅぼっ…んんっ♡匂い…もっと強く…んんっ♡」
「じゅりゅ、じゅぶ、じゅぼ…じゅちゅ、じゅぶ…じゅぶっ…

じゅぼじゅぼ…んっふう♡」

「はふう…はあ、はあ…はっ…ふう♡」

▼1度顔を離して

「はあ、はあ…ふふっ、糸引いちやってます♡」

「あなたも、気持ち良くなってくれてるんですね♡嬉しいです♡」

▼あなた、そんなに嬉しいの？ 的な反応

▼間

「当然です！」

「私が施しを受けているのですから、

あなたにも気持ち良くなる権利があります！」

「それに…やっぱり最後は、1番濃い…

あなたの匂いを嗅がせてほしいですから♡」

「そのためにも、頑張りますね」

▼亀頭キスゝ亀頭舐めからフェラへ

「ちゅっ…ちゅっ…れるれる…れるっ…ふっ、ちゅっ♡ふふっ…♡」

「はあむっ…♡んんっ、れるれる…れろ、ちゅっ♡」

「じゅちゅ、じゅぶ…じゅぶちゅっ…

れるれる…れろ、じゅぶっ…じゅぼっ、じゅぼ！」

▼口に含みながら

「ふうっ…ふうっ♡ んんっ♡

先走りの汁が…喉にい…からまりまふう…♡」

「じゅぼ、じゅりゅ、れるじゅぶ、じゅっぽ、じゅっぽ、じゅちゅじゅぽっ♡」

「ふっ♡ ふう…んんっ♡ じゅぼ、じゅぼ、じゅりゅじゅりゅ…

じゅぶっ…ちゅぶっ♡」

▼嬉しそうに

「ふう、ふう…♡ んふっ…大きくなって♡ きましたねえ♡

んふっ…ふっ—」

「じゅぶ、じゅぶちゅっ…ふーっ♡ それに匂いも濃くなってえ♡

んふっ…ふう…♡」

「そろそろ…出そう…なんですね♡ んふっ、ふーっ、ふーっ♡」

「んっ…なら♡ たくさん気持ち良くして差し上げなければ♡」

▼フェラの速度アップ

「んぐっ…じゅぶ…じゅぼ…じゅぼじゅぼっ…じゅぶじゅぶ…」

「ふうっ♡ ふう♡ じゅぶ、じゅぶっ！ じゅぼっ！ じゅぽっ！

じゅぶぶ…」

「んふっ！ んふっ！ じゅぶっ！ じゅぼっ！ じゅぼ！ じゅぽ…」

▼舐めながら

「ほら、らひて…らひてくださいっ！ じゅぼ、じゅぼっ！ じゅぶぶ…」

「1番濃い匂いをお♡ 私のお口に…全部！ 全部う♡ んふっ…」

「じゅぼ、じゅぼ、じゅぶ、んっ！ じゅぼ、んんっ♡

じゅぼ！ じゅぶぶっ…」

▼あなた、射精

SE ⑥ 近下…射精音

▼クラスメイト興奮しながら、口内で精液を受け止める

「んんっ、んう♡ んんんっ♡」

▼クラスメイト、口内に出された精液を飲みほし

「んぐっ、んぐっ、んっ…んんっ♡」

▼興奮して軽イキ

「はぁ、あなたの匂いが…口の中、体…満たして…はふ、んんんっ！」

▼クラスメイト、立ち上がり

SE ⑥ 近…衣擦れの音

▼幸せそうに

「はふう…ありがとうございます♡」

「これでまた頑張れそうです！」

「明日の放課後もお時間よろしいですか？ ふふっ♡」

・お嬢様クラスメイトは匂いフェチ END